

令和5年度 第3回板橋区公共交通会議（R6.2.5）

- ・検討対象地域の選定 → 候補地域から、立地条件を踏まえ、地域を選定
- ・導入サービス候補の整理 → 考えられるサービスの比較検討

令和6年度 第1回意見交換会（R6.6.28・30）

現状・動向などを説明し、将来の不安などの意見交換を行い、地域の課題を把握。

第2回意見交換会（R6.9.30）

地域住民のアンケート結果からの課題や新たな交通手段を紹介し、再開発などを踏まえ地域の移動手段について意見交換。

第3回意見交換会（R6.12.16）

新たな交通手段のイメージ（短期・中期・長期）を紹介・現在のバス路線維持について意見交換。

令和7年度 第1回交通検討会（R7.5.29）

**東新町・小茂根地域**において、国際興業バス「池55系統」（小茂根五丁目～池袋駅東口）の路線維持と、空白時間帯における新たに導入可能な交通について、**地域との検討を実施。**

おさらい

## 一人ひとりの利用が、バス路線の維持につながります

現在、バス業界では、運転手不足などにより、減便や運行休止・廃止になる路線があるなど、以前のようなサービスを維持し続けることが困難な状況です。

東新町・小茂根地域は、「池55系統」も減便されており、平日は日中（10時～16時）の便がほぼなくなりました。

これ以上の減便を避ける一つの方法として、皆さんがバスを利用する機会を増やしていただくことが重要です。

例えば、通勤・通学のほか、通院や池袋での買い物の際に利用するなど、外出での利用を心がけることが、バスの運行を支えます。



お声をお聞かせ下さい

板橋区では、**皆さんと共に地域の公共交通について考えるため**、スマートフォンで答えるアンケートを実施しています。左の二次元コードから回答をお願いします。



### 連絡先

板橋区 都市整備部 都市計画課 交通企画都市基盤係  
TEL:03-3579-2548 FAX:03-3579-5436  
Mail: t-koutsu@city.itabashi.tokyo.jp



意見交換会の開催内容は、区ホームページに掲載しています。

【令和7年7月作成】

## 東新町・小茂根地域

### 地域交通検討会 かわら版 板橋区 ITABASHI

東新町・小茂根地域での交通や移動について  
検討委員の皆さんと交通検討会を実施しました！



#### 検討会対象地域



5月29日に桜川地域センターにて、地域の公共交通の課題について皆さんと共に考え、今後の利活用方法を検討し、実情に合わせた公共交通の補完についてグループ討議を行いました。

#### 令和7年度開催の交通検討会

	開催日時	議題
第1回	令和7年 5月29日（木）19時～	国際興業バス『池55系統』（小茂根五丁目～池袋駅東口）バス減便後の実態と「ちょっと不便」の乗りこなし術 ・地域の交通の現状 ・路線バスの空白時間や空白地域をどう補うか ・この地域らしい「元気な移動」を考える ・班ごとの意見交換（フリーディスカッション）
第2回	（予定） 令和7年 10月20日（月）19時～	バスと新たな乗物の共存を考える（案） ・シルバーバスの活用法 ・新たな乗物の必要性はあるのか ・意見交換（フリーディスカッション）
第3回	（予定） 令和8年 2月頃 開催予定	議論の整理と町会の行動計画（案） ・議論の振り返りと町会の公共交通利用促進 ・バス運行空白時間に自主運行の可能性 ・国際興業バス『池55系統』（小茂根五丁目～池袋駅東口）の維持について ・意見交換（フリーディスカッション）

※ご希望があれば傍聴も可能です。事前に板橋区担当部署までお伝えください。



## 議題①地域の交通の現状

▶「ちょっと不便」でも使いこなす工夫。  
（時刻表や二次元コードの活用など）

### 議題①に対する委員の意見

- 平日昼間の時間帯に、近隣の病院や池袋への買い物などで利用していた。
- シルバーパスを活用してバスや電車の利用で、病院・レストラン・お店・レジャー施設へ行きたい。
- 行きのバス便はあるが、帰りのバス便はないので、別路線のバス時刻を調べて乗っている。  
（降車バス停から家までの距離は遠くなる）
- 減便後は、川越街道のバスと環七のバスを乗り継いで使っている。乗り換えは大変だが、バスの時刻を前もって調べて利用している。
- 減便による利便性の低下が「このバスにさらに乗らない」悪循環を起こしている。
- ▶今あるバス路線を残すためにできること。
- ▶路線バス(池55系統)の利用状況と減便の影響。

「池55系統」(小茂根五丁目～池袋駅東口)の本数は、減便により平日朝夕のみで平日昼間の時間帯の運行がなく、休日は9時～17時の運行のみになっています。

2017年まで1日22本 (40分毎・イメージ)			2023年まで1日11本 (80分毎・イメージ)			現在1日6本		
時刻	平日・土日祝		時刻	平日・土日祝		時刻	平日	土日祝
5			5			5		
6	●		6	●		6		
7	● ●		7			7	15	
8	● ●		8	●		8	40	
9	● ●		9	●		9	58	28
10	●		10	●		10		54
11	● ●		11	●		11		
12	●		12			12		06
13	●		13	●		13		
14	● ●		14	●		14		10
15	●		15	●		15	53	30
16	●		16			16		50
17	● ●		17	●		17	13	
18	● ●		18	●		18	28	
19	●		19	●		19		
20	●		20			20		
21			21			21		

バス空白時間帯

## 議題③この地域らしい「元気な移動を考える」

- ▶この地域の健康志向を活かした「無理のない移動方法」を考える。
- ▶シェアサイクルなど「あと少し」を埋める交通手段の可能性。

### 議題③に対する委員の意見

- シェアサイクルや電動キックボードは、「高齢者にとって危険を感じる」。
- 「折りたためる新たなモビリティ」は高額だが、乗ってみたい。

## 議題②路線バスの空白時間や空白地域をどう補うか

- ▶空白時間に「何が足りないのか」を地域で考える。
- ▶タクシーやデマンド交通/マイカー乗合交通など、新たな交通手段の比較。



### 議題②に対する委員の意見

- 日中の時間帯2, 3本で良いから「池55系統」を復便してほしい。  
（乗り物を導入するより復便が望ましい）
- この地域にデマンド交通を導入し、自宅近くに停車ポイントを設置してほしい。
- 福祉施設等の送迎バスの空き時間を利用できないか。  
（地域資源の活用として）

## 新たなモビリティ（例）

WHILL Model F  
折りたためる  
モビリティ



LUUP 未来の電動  
マイクロモビリティ  
※開発中



LUUP  
シェアサイクル  
(電動自転車)



LUUP シートボード  
(特定小型原動機付き自転車)

